

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・理科

前時の学習活動の様子や児童がノートに書いた予想や疑問などを大型モニターに提示し、全員で振り返りながら、本時の課題を明確にする。

1 学習場面

教師による教材の提示（一斉学習）

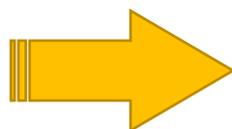
2 本時の目標

根から吸い上げられた水が葉のどこから水蒸気として出ていくのか、顕微鏡で観察し調べることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

教師が前時の学習場面を、児童の記憶をもとに想起させ、学習問題を与える。



After

これまでの**学習内容や活動の様子を画像で記録し、全体で共有することで、前時の学習内容を想起しやすくなる。**

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 学習活動の履歴を画像として提示することによって、学習の振り返りと本時の学習への意識づけをしやすい。**
- 欠席した児童でも、前時の学習内容を振り返ることが出来る。**
- ★教師はどのような画像を使用するのか、学習の到達目標に沿ったものを意図的・計画的に使用する。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・理科

顕微鏡の操作方法の動画を、いつでもどこでも視聴しながら情報を収集し調べる。

1 学習場面

個に応じた学習（個別学習）

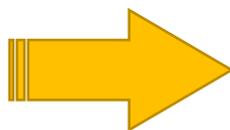
2 本時の目標

植物の結実について、顕微鏡を正しく操作しながら、結実の過程や得られた結果を記録することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

動画の一齐視聴や教師による演示後に、器具や装置の操作を行い観察記録をする。



After

児童が、いつでもどこでも必要なタイミングで繰り返し動画を視聴しながら学習活動ができる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○自分が何を理解し、何ができるか考えながら知識及び技能を向上させることができる。

★理解度に応じて繰り返し視聴し、顕微鏡操作を行ってよいことを伝える。

★家での自主学習やテスト前の振り返りとして活用してよいことを伝える。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・理科

観察結果の画像を、Teamsに投稿し「気付いたこと」等を書き込み、全員の考えや意見を可視化し、友達と互いに学び合う。

1 学習場面

発表や話し合い・協働での意見整理（協働学習）

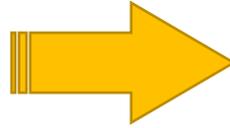
2 本時の目標

植物の結実について、様々な観察結果をもとに、他者の考えと比較しながら自分の考えを更新したり表現することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

良く挙手する児童や特定の児童だけの発表だけで、授業の話し合いが進行する。



After

児童が、自分の考えを表現すると共に、他者の考えを参考に、自分の考えを振り返り、新たな気づきや発見をする。

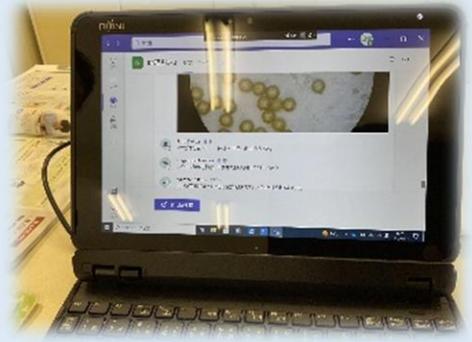
4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○Teamsに、他者の考えに対するコメントやリアクションボタンをいつでも入力できる。その結果、全員参加がしやすい授業ができる。

★自分の考えを表現するとともに、他者の考えにも反応することを伝える。

★挙手で発表できなくても、コメントやリアクションボタンで自分の考えを伝えることも価値があることに気付かせる。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・理科

自分の言葉で書いたまとめを**全体で共有**し、学んだことを確実に身に付ける。

1 学習場面

発表や話し合い（協働学習）

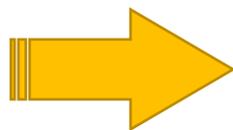
2 本時の目標

空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

児童が書いたまとめを挙手して発表したり、教師が机間指導した上で、指名して発表させたりすることで全体で共有する。



After

児童がノートに書いたまとめを、端末で撮影して教師に提出し、**電子黒板等で共有**する。教師は**提出されたデータを基に指名**することができる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 口頭発表のみで聞くより、**映し出された文章を見ながら聞くことで、より内容を理解しやすい。**
- 机間指導よりも**教師が児童の書いたまとめを確認しやすい**ので、効果的な指名計画を立てられる。また、発表が苦手な児童のまとめも共有しやすい。
- ノートに書いたものを撮影して提出するので、**ノートに学習の流れがきちんとまとめられる。**
- ★自分の言葉でまとめを書く時間、そのまとめを全体で共有する時間を十分確保する。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善